

71年の伝統と歴史のある、大学生によるシェイクスピア劇原語上演

# 十二夜

— Twelfth Night —



「道化ってのは、  
太陽みたいに  
地球上を歩き回り、  
隅々まで照らすんだ。」  
(第3幕第1場より)

2019年12月6日(金)

18:30 開演

12月7日(土)

12:30 開演

12月7日(土)

17:30 開演

「HamletとTwelfth Night、  
どっちがどっち？」

〔講師〕演出主幹・瀬沼 達也

12月7日(土)

11:45 ~ 12:15 講演

日時

開場は開演時刻30分前。7日昼公演のみ11:30開場。上演時間は約120分を予定。

会場

神奈川県民共済みらいホール

JR・横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から徒歩3分  
みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩10分

全幕を原語で上演、  
劇初めに日本語ナレーション、  
劇中に解説・字幕あり

料金

一般¥1,000 大学生以下無料

※事前予約不要。大学生以下は学生証・生徒手帳をご呈示ください。

定員各回300名



# 十二夜

— Twelfth Night —

嵐の海で船が難破し、離ればなれになってしまった双子の兄妹、セバスチャンとヴァイオラ。妹のヴァイオラはイリリアという国に漂着するが、兄セバスチャンは行方不明になってしまう。ヴァイオラは悲しみながらも兄の服装を真似て男装し、領主オーシーノ公爵の小姓となる。

その公爵は貴族の令嬢であるオリヴィアに恋をしているが、

彼女は兄の喪中を理由に求愛を断っていた。

しかし、公爵の使者として屋敷を訪ねてきたヴァイオラに逆に恋をしてしまう。

しかし、そのヴァイオラは実は公爵に密かな思いを抱いていた。

結果としてなんとも複雑な片思いの三角関係が出来上がってしまう。

やがて、行方不明と思われた兄セバスチャンは友人に救われてイリリアに上陸。

町では瓜二つの姿をした兄妹の取違いが起こり、勘違いが勘違いを呼んで、

騒ぎは次第に大きくなってゆく……！

上演時間約120分

ウィリアム・シェイクスピア (William Shakespeare) [1564~1616]

イギリスの劇作家・詩人。四大悲劇『ハムレット』『オセロー』『リア王』『マクベス』を始め、『ロミオとジュリエット』『夏の夜の夢』等が日本での著名戯曲だが、その他『ソネット集』などの詩集もある。今回の演目『十二夜』は『ハムレット』と同時期に書かれた最高傑作喜劇である。

シェイクスピア英語劇研究会とは

毎年ひとつシェイクスピアの戯曲を選択し、原語での公演を行う団体です。

1948年の第1回公演である『ヴェニス商人』から、2019年で71周年を迎える、

歴史と伝統のある劇です。現在までに上演した作品は、『ハムレット』『夏の夜の夢』

『ロミオとジュリエット』など全17戯曲におよびます。



詳しくはシェイクスピア英語劇研究会HPをご覧ください。 <http://home.kanto-gakuin.ac.jp/~kg108203/>

## 学生を代表して

今年度、舞台監督になりました杉崎翔平です。

二年間は舞台メイクを担当していました。

今年度は『十二夜』というシェイクスピアの最高峰の喜劇で、英語が分からない人にも笑顔をお送りしたいと思っています。

不安なことは多いですがコツコツとやっていきたいと思ひます。皆様、よろしくお願ひ致します。



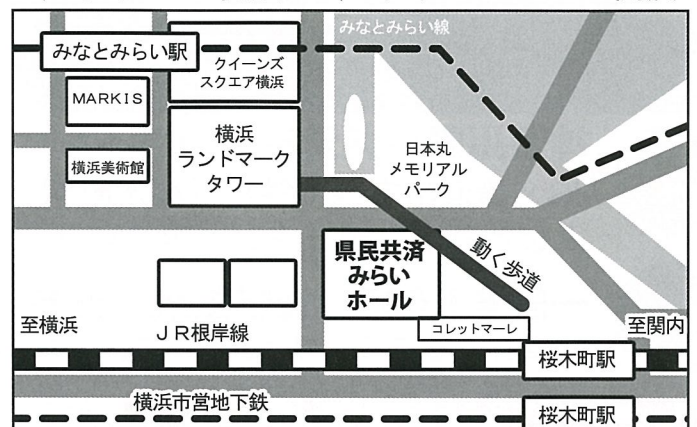
関東学院大学

シェイクスピア英語劇

大学生以下無料  
要学生証・生徒手帳呈示

【全席自由・一般¥1000円・事前予約不要】

12/6(金)18:30開演 12/7(土)12:30・17:30開演



JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩3分  
みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩10分